京都精華大学教育後援会　2020 年度総会議事録

開催日時：2020 年 6 月 20 日（土）11:00-12:30
開催場所：京都精華大学本館 4 F 会議室
出席役員：（会長）山脇剛、（副会長）小村哲也、（会計）田中永美、（監事）小脇紀子、
（監事）服部今日子
大学関係者：（学長・教育後援会顧問）ウスビ・サコ、（教育後援会事務局・経営企画グループ長）舟津潤、（教育後援会事務局・経営企画グループリーダー）矢澤愛

□学長挨拶

議事に先立ち、学長ウスビ・サコから挨拶があり、現在の遠隔授業の状況や学生支援状況に関する説明と、保護者と大学が協力しながらこの状況を前向きな方向に変えていきたいというメッセージがあった。

□議事

１．総会議案に対する保護者アンケート回答数について

事務局から、会員（全国内学部生保護者）に対して事前に総会資料を送付し、議案に対する賛否を問うために実施した事前アンケートの概要と回収数について下記の通り報告があった。例年の総会参加者数に比べ約 5 倍の回答が集まったことから、アンケートの有効性と今後も継続した取組としたい旨が共有された。

アンケート実施時期	2020 年 6 月 9 日～6 月 15 日
アンケート実施方法	オンラインでのアンケート入力方式
アンケート対象者（発送）数	2,357
アンケート回答数	309
うち有効回答数（重複回答除く）	292（回答率 12.4%）

2. 各議案の賛否について

事務局から、事前アンケートによる各議案に対する賛否回答結果について、下記の通り報告された。全ての議案に対し過半数の賛意を得たことが確認され、可決された。反対理由についても詳細の共有があり、教育後援会事業報告のより分かりやすい報告内容と掲載方法について次年度に向けて検討を行うこと、教育後援会 HP 上での情報発信を細やかに行うことにより保護者への正確な情報提供に努めることが確認された。また、2021 年度以降に留学生保護者が役員となった場合の交通費の支給については、細則案を事務局側で何案か作成し、次回役員会で提案することとなった。

各議案項目	賛成	反対
2020 年度教育後援会について		
(1)教育後援会の諸活動	288	4
(2)教育後援会会則・弔慰取扱細則	290	2
(3)役員・役職役員について	291	1
2019 年度事業報告および決算		
(1)2019 年度事業報告	292	0
(2)2019 年度決算	292	0
(3)2019 年度寄付事業報告	290	2
2020 年度事業計画および予算		
(1)2020 年度事業計画	290	2
(2)2020 年度予算（案）	292	0
(3)2020 年度寄付事業（案）	290	2
2021 年度以降の教育後援会運営		
(1)会費徴収対象者の変更について	289	3
(2)教育後援会運営方法について	292	0

3. 大学・教育後援会への各種意見について

事務局から、アンケート結果のうち、大学・教育後援会への各種意見についての詳細の共有があった。

授業等に関連する各種ご意見が最も多く寄せられたため、詳細結果を教学側の教職員役職者と共有のうえ、対策が必要な内容については学内で対応を検討することが報告された。

進路就職に関連するご意見のうち、オリジナル手帳の配布時期が 4 回生では遅いというご意見については、実際に活用される時期は 4 回生がメインとなるが手帳の配布時期は 3 回生前半であることが報告された。

役職役員から、対面授業とオンライン両方とも良い面があるので、今後も選択できるような形の教育を考えていただきたい。どういう授業がオンラインに適しているかなど、今回の経験値をもとに整理して開発していただければ良いのではないか、との意見があった。

サコ学長から、オンライン授業になったことで出席率が上がり無駄がないという利点があるが、友人との交流など大学生らしい生活を求めている学生も多く、オンラインが続くと息抜きの瞬間がない。オンラインになったことで課題過多になった部分があるので、教員間で共有し調整を行った。制作系の授業はもともと遠隔授業を全く想定していなかったので対応に苦慮しているが、初めての経験から学んだ教訓をもとに後期の改善策を考えている。オンラインは本来学修支援ツールなので、うまく活用したい、との説

明があった。

役職役員から、学生が大学で受けられるキャリア支援内容について意外に学生が知らなかったりする。何から始めて良いのか分からないというケースも多いと思うので、周知をしていただきたい、との意見があった。

サコ学長から、例年、教員を通じ学生にも促しているところだが、今年度も教員からの働きかけに努めたいと回答があった

4. 教育懇談会の開催について

事務局から、2020 年度の教育懇談会の日程について改めて報告があった。9 月に地方会場として広島、11 月に学内会場として京都で懇談会を実施予定であるが、コロナウイルス感染防止対策のため、例年のような大会場に保護者が集合する形での講演会や立食形式の懇親パーティーは実施が困難な状況である。教職員と保護者間の面談の機会をしっかり確保することを目的として内容を検討し、実施案を追って役員間で確認いただく予定である、との報告があった。

5. その他

事務局から、今年度の学園祭が中止となったことが報告された。サコ学長から、祭という形式ではないが、1 年生を歓迎できるような内容も含めた何らかの大学イベントを検討中である、との説明があった。

役職役員から、単に中止として何もしないのではなく、コロナ後の学園祭をどういう形とするかを考えていく必要があるだろう。実行委員会をオンラインで開催するなども検討できるのではないか、との意見があった。

以上